



# 研究大会 速報

豊かな環境を確かな支援で  
～学校事務の可能性は∞～

## 開会式 & 支部紹介 & 全事研埼玉大会準備状況



- ①大勢の会員で賑わう受付
- ②③県教育局市町村支援部石井氏・県中学校長会長小林氏からの挨拶では、我々に激励の言葉をいただきました
- ④各支部による活動等の紹介をいただきました
- ⑤全事研埼玉大会準備状況を説明する浅野副理事長



## 教育委員会講話

埼玉県教育局市町村支援部参事兼小中学校人事課長  
下野戸 陽子 氏



熱の入る下野戸氏のお話

埼玉県教育局市町村支援部参事兼小中学校人事課長 下野戸陽子氏より、「埼玉教育の現状と学校事務職員に期待すること」というテーマでご講話をいただきました。現在の教育を取り巻く社会背景として、人口減・少子高齢化、地域社会・家族の変容、社会格差の増大、外国人児

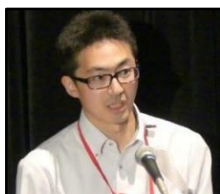
童の増加などの例を挙げ、「何が今の子供たちに必要なのかを考え学校組織で教育に取り組むことが必要である。その上で学校事務職員には、共同実施等で情報を共有しつつ、教員とは違う視点で学校運営に参画してほしい」とエールをいただきました。

## 研究発表 & 研究協議

ただしました。その後、「これからの学校における事務職員の役割」「みんなで考える それぞれのはじめの一步」を柱としたグループ協議が行われました。助言者の先生からは「事務職員の視点や存在は大事です。人と人との繋がりを大切に、それぞれスキルアップを図ってください」とのお言葉をいただきました。



研究担当による気合のこもった提案



周囲の人と協議をしている様子



研究発表では「要望掲示板の作成により、要望が可視化されることで、教職員が普段より公費の執行について意識する機会となった」などの紹介がされ、「事務職員が学校の状況や分掌等に応じて、共同実施等を活用しながら主体的に財務にかかわっていくことで、子供たちの豊かな学びと学校の教育目標の達成に寄与でき、学校事務の可能性が広がるのではないか」との提案が行われました。

研究協議では、最初に助言者の3名からミニ講演をい

助言者 植竹 丘 氏(上)  
榊原 久子氏(左下)  
西倉 剛 氏(右下)

